

発表企業のプロフィール

有限会社マイテック（代表取締役 長谷川幸子）（年齢：49歳）

【住所】：兵庫県姫路市船津町4652-4

【設立】：平成11年2月18日 【資本金】：300万円 【従業員】：1名

【URL】：http://sers-mytech.main.jp

【事業分野】：医療機器

【サマリー（今回の資金調達に関連したビジネスプランの概要）】：

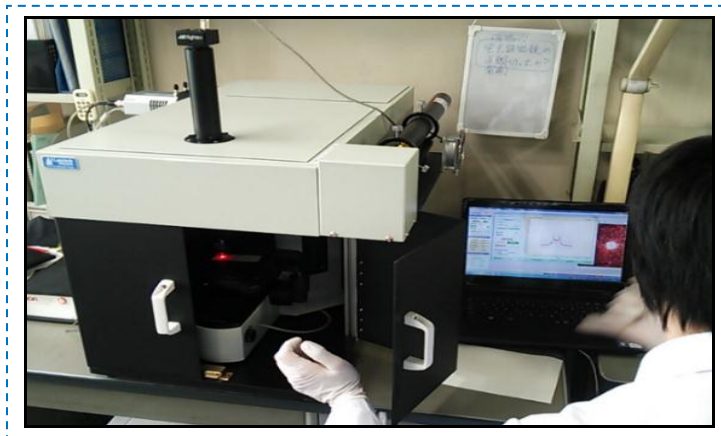
我が国の死亡原因第1位の疾患である「がん」の超早期診断・治療を可能にする医療機器を開発することは、患者の生活の質（QOL）の向上と我が国の医療機器産業の競争力強化を図ることができる。また、社会問題化している医療費削減にも大きく貢献できると期待されている。

血液中に遊離した腫瘍マーカーを活用する最先端の医療研究として、「NEDO最先端の次世代がん診断システム開発（産学官連携プロジェクト）」・「内閣府革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）」はじめ、多くの巨大プロジェクトが次々に開始されている。世界的にも最先端医療として熾烈な研究開発が行われているが、高感度ながん関連物質の検出法は未だ確立していない。

マイテックは、「血液1滴（10 μ l）、測定時間7分」で「分子レベルのがん物質」検出に世界で初めて成功している。

血液1滴でがんの有無や癌の部位が10分以内に検査できる、世界初の超早期診断プロテオ[®]チップの事業化を目的とする。

地域がん診療連携拠点病院（397病院）を顧客とし、採血した検体を新規受託会社（神戸医療産業都市）に集約し、診断結果データを各病院に送るがん検診の受託検査事業。



測定装置



プロテオ[®]チップ（世界初のがん検出バイオチップ）

【発表に向けた抱負・意気込み】

（経営の想い、VCへのメッセージ、求めるVCの分野など）

医療用分析において再現性良く、短時間で、分子レベルでの分析が可能となることは、病気の解明や創薬研究に大変重要な役割を果たし、また、病気の超早期発見や経過観察も可能となる。この技術は大がかりな装置を必要とせず、超早期診断、医療検査技術の省力化による大幅な医療費削減が期待できる。

バイオチップ市場の主流であるDNAチップを凌駕する「純国産バイオチップ」技術は、世界シェア8割近くをも占める米国特許技術の制約を受けることなく、病気の早期発見、テーラーメイド医療、IPS細胞の分化選抜、タンパク質検出による病気の解明等の最先端技術が新たな国内産業となる可能性がある。

特許の権利確保で世界的シェアを確保でき、国際的優位性も実現可能となると期待できる。この技術は国内の新産業の基盤技術となり得る。その普及効果は、中小企業等への新たな産業を生み出す可能性があり、国内での生産は新たな雇用が確保できる。

ビジネスプラン名：様々な音問題を解決する SOUND SOLUTION PROJECT

発表企業のプロフィール

AURAL SONIC株式会社（代表取締役社長 古澤 秀和）（年齢：46歳）

【住 所】：福岡県福岡市中央区大名2-8-17 伊藤久ビル9F

【設 立】：平成17年1月19日 【資 本 金】：3400万円

【従 業 員】：8名

【U R L】：http://www.auralsonic.co.jp

【事業分野】：新製造技術と新サービス

【サマリー】：「世界初！アカデミー賞授賞式採用の調音パネル
“AURAL SONIC”」



■ AURALSONICとは

「AURALSONIC」は、音空間のトリートメントが実現出来る音響パネルです。つまり、邪魔なノイズを軽減し、欲しい音や声をきちんと残すことが可能となります。既存技術では40～50cmの壁工事が必要な調音効果と遮音効果を、わずか2cmの薄さで一度に実現出来る画期的パネルです。同時に音響空間拡張効果があるため、聴覚上実際よりも部屋を広く感じます。用途に応じて、壁掛けタイプ、自立タイプ、モバイルタイプ、床下地材等のラインナップがございます。

■ AURALSONICの原理

壁に当たった一次反射音を直接音と干渉しない様に微弱な反射音に変換しています。この微弱な反射音を遅延させることで、実際の部屋より広い空間と同じ音場にします。

■ 導入実績

米国ではアカデミー賞授賞式やウォルトディズニー、日本ではNHK、歌舞伎座、USJなどで採用されています。最近では工場や医療福祉施設での採用も増えています。米国ではグラミードラマーのピーター・アースキン、デイブ・ウェックル、日本ではドラマーの村上ポンタ秀一氏やギタリストの吉田次郎氏から絶賛のお声を頂いています。また、医療では神甲会隈病院の隈理事長や倉信整形外科クリニックの倉信正院長からも医療現場での有効性を高く評価して頂いております。



アカデミー賞授賞式



診察室（倉信整形外科）



工場（日産エンジン組立）

■ 今後の展開

住宅環境やオフィス環境のみならず様々な分野への応用を図ります。特に創業時からの願いであった医療福祉分野への展開を強化し、「ゼロからプラスの環境づくり」を進めて参ります。

【発表に向けた抱負・意気込み】

（経営の想い、VCへのメッセージ、求めるVCの分野など）

今回の資金調達希望額は1億円です。資金調達の主な目的は、開発終了商品の量産化と開発中の商品の完成及び量産化です。弊社はこれまで地道に足場を固めながら実績を積んで参りましたが、今後は、工場のコンサルティングによるストックビジネスと、医療福祉用パネルの世界販売を進めて参ります。今回は、飛躍のタイミングという意味で機は熟したと考え、プレゼンテーションをさせて頂くことにしました。

発表企業のプロフィール

クロス・メディア・ネットワークス株式会社 代表取締役社長 山下 恵助

- 【住 所】：福岡県福岡市博多区博多駅東1-17-1 福岡東総合庁舎4F
- 【設 立】：平成12年4月7日
- 【資 本 金】：2,700万円（資本準備金2,300万円）
- 【従 業 員】：12名
- 【U R L】：http://crossmedia-networks.com/company.html
- 【事業分野】：情報・通信（インターネット関連を含む。）
- 【サマリー（今回の資金調達に関連したビジネスプランの概要）】：



第一事業【サイネージ「Global/CORASU」販売事業】

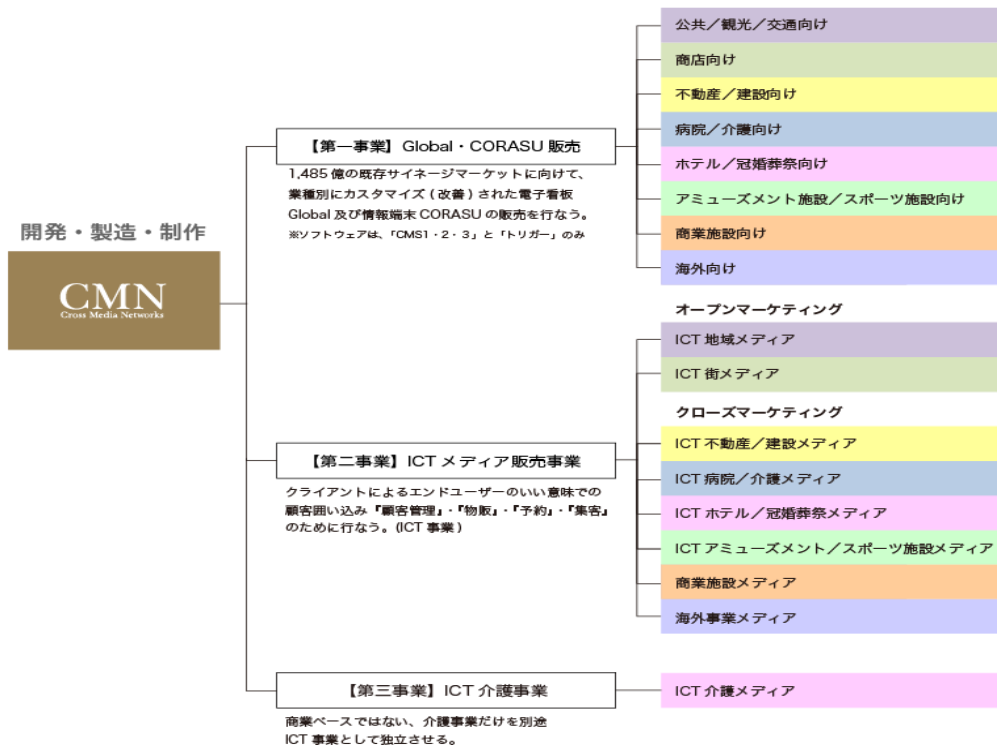
ターゲット：1,485億の既存サイネージマーケットに向けて業種別に販売を行なう。
Point!
 成長し続ける、サイネージ市場に対し、業種別にカスタマイズされた、低価格で、高機能なサイネージを提供する。

第二事業【ICTメディア事業】

クライアントによるエンドユーザーのいい意味での顧客囲い込み「顧客管理」
 ・「物販」・「予約」・「集客」のために行なう。
Point!
 テーマ別に構成されたビジネスモデル。
 その中の地域メディアでは広告収入モデルで、導入費用を償却済みである。

第三事業【ICT介護事業】

ターゲット：介護事業だけを別途ICT事業として独立させる。
Point!
 高齢化社会を迎えるにあたり、ひとりの高齢者を中心に、ご家族と支援する事業モデル



発表に向けた抱負・意気込み（経営の想い、VCへのメッセージ、求めるVCの分野など）】

リアルとITの融合による地域・企業の活用の為に働きたい。